

9) 動物実験の種類	<input type="checkbox"/>	1. 試験・研究
	<input type="checkbox"/>	2. 教育・訓練
	<input type="checkbox"/>	3. その他 ()
10) 動物実験を必要とする理由	<input type="checkbox"/>	1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった
	<input type="checkbox"/>	2. 検討したが、代替手段の精度が不十分だった
	<input type="checkbox"/>	3. その他 ()
11) 想定される苦痛のカテゴリー	<input type="checkbox"/>	B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験
	<input type="checkbox"/>	C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験
	<input type="checkbox"/>	D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験
	<input type="checkbox"/>	E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い、またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験
	<input type="checkbox"/>	
12) 動物の苦痛軽減、排除の方法 (該当項目全てにチェック)	<input type="checkbox"/>	1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない
	<input type="checkbox"/>	2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない
	<input type="checkbox"/>	3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入) ()
	<input type="checkbox"/>	4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する
	<input type="checkbox"/>	5. その他(具体的に記入:)
13) 安楽死の方法 (該当項目全てにチェック)	<input type="checkbox"/>	1. 麻酔薬等の使用(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入。なお、エーテルによる安楽死は原則禁止) ()
	<input type="checkbox"/>	2. 炭酸ガス
	<input type="checkbox"/>	3. 中枢破壊(具体的に記入:) 法)
	<input type="checkbox"/>	4. 安楽死させない(その理由を記入: その他)
14) 動物死体の処理方法	<input type="checkbox"/>	1. 飼養保管施設に委託(施設名:)
	<input type="checkbox"/>	2. その他(具体的に記入:)
15) その他必要または参考事項	(過去の動物実験計画承認実績、学内の関連委員会への申請状況などを記入する)	
16) 前年度の 使用動物種・ 頭数(3月分は 概算可)		

動物実験委員会 記入欄	審査終了: 年 月 日	
	修正意見等	
	審査結果	<input type="checkbox"/> 本実験計画は、びわこリハビリテーション専門職大学における動物実験に関する規程等に適合する (条件等 <input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> 本実験計画は、びわこリハビリテーション専門職大学における動物実験に関する規程等に適合しない
承認欄	承認: 年 月 日	
	本実験計画を承認します 承認番号: 第 号 学長	